

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:R8年1月10日

事業所名: ぴあ・いろはプラス

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。

評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい どちらともいえない いいえ	工夫した点、改善点	はい どちらともいえない いいえ	わからない	保護者の方のご意見				
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	8	障がい特性に応じて構造化している。	12	1					事業所の室内や屋外での活動も組み合わせて様々な活動に取り組む。
	2 職員の適切な配置	3 5	法定で定められた職員数以上を配置しているが、個別支援の準備に割く時間が多い。特性への合理的な配慮に応じて基準以上の職員配置をしている。	12		1				
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	8	障がい特性に応じた構造化や視覚的支援を行っているが、仕切りなどで空調の温度調整や音の遮断など、難しい時もある。バリアフリーになっていない場所があり、安全点検などではけがのないように転倒防止・保護グッズで工夫している。	13		1				障がい特性に応じた構造化を行う。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	8	利用児が使用後にテーブルやおもちゃなどの消毒やお部屋の掃除、リネン類の洗濯などを行っている。	13		1				感染症予防のため衛生面での対応の強化をする。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	8	機能的アセスメントや氷山モデル考え方を軸に一人一人のケースについて複数の職員が参加し、検討している。							チームでPDCAサイクルへの参画ができるよう仕組みを作る
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	3 5	定期的に外部評価を受け、結果を文書で共有している。実際の療育の現場へ改善点を取り入れ、報告している。法人のホームページで自己評価の結果を公開している。							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	8	特性の理解やチーム支援、虐待防止、感染症予防などの研修を行っている。							法人主催の研修や外部講師コンサルテーションの他、外部研修にも積極的に参加できるよう勤務調整を行っている。
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	8	適切な支援プログラムを作成しており、公表する。	13						いつも丁寧に関わっていただき、大変感謝しています。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	8	児童発達支援ではPEP3、放課後ダイではTTAPやBWAPなどのフォーマルアセスメントを実施している。日々の行動観察からインフォーマルアセスメントを行い、個別に支援している。	13						
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3 5	TEACCHプログラム、ABA、PECSなど科学的根拠が実証されたプログラムを学び、実行している。	13						
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	3 5	集団は苦手な児童が多いため、個別から小集団へと適応していくよう計画的に支援している。							
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	8	毎回利用時に、個別の活動目標や振り返りを行い、記録している。	13						
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	1 7	チーム支援が行えるよう情報共有に努めている。							
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	8	理解できるレベルのスケジュールを準備し、日課を予告し、柔軟性を身に着けているよう支援している。本人の状態に応じて、課題の量や内容を変えて準備している。	12	1					特性に配慮し、発達の状況や心身の状況に応じて日課を組み立てている。柔軟性や般化を計画的に進めているよう支援継続する。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	8	長期休暇時は、個々のニーズに合わせた活動にチャレンジできるよう提案している。							
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	8	朝礼やミーティング、ケース会などで支援内容役割分担の確認している。							
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	1 6 1	支援終了後、その日のトピックについての報連相で情報共有しているが、詳細な情報共有は難しい時があり、翌日準備に追われている。							
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	8	記録に漏れがないようダブルチェックしている。							
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	8	定期的にモニタリングに加え、ニーズに合わせて計画を見直している。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい どちらともい ない	いいえ いいえな い	工夫した点、改善点	はい どちらともい ない	いいえ いいえな い	わからない	保護者の方のご意見		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	8		担当者会に必ず参加している。	/	/	/	/		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	6	2		/	/	/	/		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		8		/	/	/	/		
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有		8	学校や保育園での個別支援会議に参加し、情報共有に努めている。	/	/	/	/		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		6	児童発達支援では、モニタリングや支援会議などにおいてビデオをとって情報共有している。	/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進		3	市内に児童発達支援センターは無いが、特性の理解を深めるため、必要となる様々な研修に参加している。発達支援センターとはサポートファイルの引き継ぎ等の会議に参加し情報共有している。	/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供		2	学生ボランティアさんと交流する機会を設けている。	4	1	2	5		児童発達支援の利用児さんについては、障がいのない児童と触れ合う機会はほとんどないが、行うためには個別に配慮された環境で実施できるよう計画的に進める必要がある。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営			見通しがもちにくくと不安になつたり、聽覚過敏の子どもが多いため、現実的には難しい。	/	/	/	/		
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明		8			13				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明		8			13				
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレン特訓等の支援の実施		8	職員の一部はペアレン特訓等の研修を受けています。毎月、法人主催の勉強会を開催し、保護者同士が学びあい支えあう機会を提供している。	11		1	1		
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		8	送迎時や連絡帳を通じて、支援目標の確認や実施状況などについて共通理解を進めている。	12	1				
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		8	相談票を活用し、実施している。	13					
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		8	月1回、保護者向けの勉強会や座談会を実施しており、保護者同士が交流できる場を提供している。	13					
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応		8	苦情や相談の窓口を設けている。ご意見箱を設置している。	10			3		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮		8	理解や発信コミュニケーションに困り感が強い児童が多いため、様々な代替コミュニケーションの支援を実施している。	10			3		
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信		8	定期的に通信を発行し、療育の内容の説明や行事の様子などをお伝えしている。スマートフォンで写真や動画も保護者にお送りしている。	13					
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応		8	個人情報については、保護者と同意書を結び、保護者の同意を得ている。	13					
	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		8	各種マニュアルを策定しており、職員会等で職員に周知している。保護者への周知のため、手に取りやすい入口にマニュアルを配置している。	12			1		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	8			消防訓練年2回、防犯訓練、地震、水害、感染症など必要な訓練を実施している。	10			3	
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	5	3		服薬や癲癇発作の状況は確認しているが、予防接種の確認はしていない。					
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	5	3		アレルギーについては保護者より情報提供を受け、対応している。					
	5 安全管理の徹底	7	1		安全計画を策定している。月1回事業所内の安全点検を行っている。					
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知		8		ご家族への周知については検討中。	11			2	
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底		8		毎週ヒヤリハットを集計し情報共有に努めている。					
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応		8		虐待防止や身体拘束適正化のため、定期的に研修を行っている。					
	9 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上で児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載		8							